

科目名	人権のあゆみ						
英語科目	ナンバリング	GHhur102					
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次	単位数	2 単位
教員名	灘本 昌久						

授業概要／Course outline

社会問題といわれるものには、様々な種類があります。古くは「労働問題」「農民問題」でしたが、日本では1960年代の高度経済成長を経て、それらの古いタイプの階級的問題は、基本的に影をひそめました。そして、それにかわって1960年代末に登場し、社会の耳目をひくようになったのが、公害問題や教育問題とらんで「差別問題」でした。そして、当初は、部落問題、障害者問題、民族問題、女性問題など、わずかな種類のテーマであったものが、今では、性同一性障害、エイズ、犯罪被害者の人権等々、急激にその数を増しつつあります。それ自体は悪いことではないのですが、問題の取り扱い方を誤ると、新たな紛争の火種となったり、争いが争いを生む悪循環に陥るなど、本末転倒の結果となることもあります。本講義では、世界の人種・民族紛争を中心に学び、人権・差別問題への理解を深めたいと思います。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第1回 ユーゴスラビア内戦
1990年代に旧ユーゴスラビア連邦が解体・対立して、内戦に突入した歴史的背景・経緯について学ぶ。
- 第2回 セルビア民族主義
ユーゴ内戦の裏に隠されていた、セルビア民族主義の歴史的背景と現状を学ぶ。
- 第3回 第1次世界大戦とバルカン問題
第一次世界大戦が勃発するに至った歴史的背景と現在のユーゴ内戦の因果関係に付き学ぶ。
- 第4回 キプロス紛争
キプロス島が南北に分断され、多くの家族が離散している現状を学び、そこに至った歴史的経緯を学ぶ。
- 第5回 ルワンダ内戦1（映画「ホテル・ルワンダ」を題材に
ルワンダ虐殺が起きた原因を学ぶ。
- 第6回 ルワンダ内戦2（映画「ホテル・ルワンダ」を題材に
ルワンダ虐殺が起きた原因を学ぶ。
- 第7回 ルワンダ内戦3（国連平和維持軍司令官ロメオ・ダレール）
ルワンダ虐殺が起きた時の国連平和維持軍司令官の目を通して、民族紛争への国際社会の責任を考える。
- 第8回 アフガニスタン（内戦）
アフガニスタン内戦に至った歴史的背景・経緯を学ぶ。
- 第9回 アフガニスタン（中村哲の成し遂げたこと）
アフガニスタンで長年、人道支援に当たってきたペシャワール会の中村哲の事績を学ぶ。
- 第10回 インドの宗教暴動
インドにおけるヒन्दゥーとイスラムの対立、現状を学ぶ。
- 第11回 インド・パキスタン分離独立
旧大英帝国植民地が独立するに当たり、インドとパキスタンに分裂した背景と歴史的経緯を学ぶ。
- 第12回 日系ブラジル人と日本社会
日本に多く居住する日系ブラジル人の生活と、来日の歴史的背景を学ぶ。
- 第13回 フランスのスカート禁止法
フランスで起こったイスラムなどを中心とする移民の問題を学ぶ。
- 第14回 アメリカの黒人奴隷制
アメリカ合衆国での奴隷制の成立に付き学ぶ。
- 第15回 アメリカの公民権運動
アメリカ合衆国における人種差別をなくす公民権運動を学ぶ。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

図書館のデータベース、特に JapanKnowledge を中心に、インターネットも参照して、以下に掲げるキーワードを予習しておくこと。

第1回 ユーゴスラビア内戦

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「ユーゴ内戦」につき、理解を深めておくこと。（所要時間の目安：

120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、冷戦崩壊から民族対立激化へのプロセスを整理して理解しておくこと。(所要時間の目安:120分)

第2回 セルビア民族主義

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「セルビア民族主義」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、冷戦崩壊から民族対立激化へのプロセスを整理して理解しておくこと。(所要時間の目安:120分)

第3回 第1次世界大戦とバルカン問題

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、第一次世界大戦勃発の原因につき、民族対立の観点から理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、冷戦崩壊から民族対立激化へのプロセスを整理して理解しておくこと。(所要時間の目安:120分)

第4回 キプロス紛争

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「キプロス紛争」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、キプロスを巡る紛争につき、理解する。(所要時間の目安:120分)

第5回 ルワンダ内戦1(映画「ホテル・ルワンダ」を題材に

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「ルワンダ虐殺」「ツチ族」「フツ族」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、ルワンダ紛争の歴史的経緯とその後の平和の取り組みを整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第6回 ルワンダ内戦2(映画「ホテル・ルワンダ」を題材に

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「ルワンダ虐殺」「ツチ族」「フツ族」(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、ルワンダ紛争の歴史的経緯とその後の平和の取り組みを整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第7回 ルワンダ内戦3(国連平和維持軍司令官ロメオ・ダレール)

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「保護する責任」「戦時国際法」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、ルワンダ紛争の歴史的経緯とその後の平和の取り組みを整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第8回 アフガニスタン(内戦)

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「アフガニスタン」「アフガン戦争」「中村哲」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、アフガニスタンを巡る戦争が引き起こされた経緯と、その後の取り組みについて整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第9回 アフガニスタン(中村哲の成し遂げたこと)

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「アフガニスタン」「アフガン戦争」「中村哲」(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、アフガニスタンを巡る戦争が引き起こされた経緯と、その後の取り組みについて整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第10回 インドの宗教暴動

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「インド」「パキスタン」「ガンジー」「ジンナー」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、インドとパキスタンが分離独立するに至った経緯を整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第11回 インド・パキスタン分離独立

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「インド」「パキスタン」「ガンジー」「ジンナー」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、インドとパキスタンが分離独立するに至った経緯を整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第12回 日系ブラジル人と日本社会

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「外国人労働者」「移民」「日系ブラジル人」(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、日系ブラジル人の来日経緯と、外国人労働者の問題を整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第13回 フランスのスカート禁止法

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「スカート禁止法」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、移民、多文化教育と日本の現代社会の課題を関連付けて考えておく。(所要時間の目安:120分)

第14回 アメリカの黒人奴隷制

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「アンクル・トムの小屋」「アメリカの奴隷制」「南北戦争」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、アメリカの奴隷制について経過を整理しておく。(所要時間の目安:120分)

第15回 アメリカの公民権運動

[事前学習]moodleに掲出した資料をもとに、「公民権運動」「キング牧師」「マルコムX」につき、理解を深めておくこと。(所要時間の目安:120分)

[事後学習]授業での学習を振り返り、アメリカの公民権運動について経過を理解しておくこと。(所要時間の目安:120分)

授業の到達目標/Expected outcome

世界の人種・民族紛争を学び、21世紀の日本社会にいかに関用できるかを理解する。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・社会情勢の変化や展開により、臨時に新しいテーマを扱う場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大など、予期せぬ事態が生じる可能性もありますので、moodle上での情報提供に注意しておいてください。

評価方法/Evaluation

定期試験により評価する(100%配点)。

教材/Text and materials

参考書:授業中に文献の紹介をします。

質問や相談の方法/Instructor contact

何か質問があれば、講義中や講義後、そしてメールでもどうぞ。

メール:nadamoto@cc.kyoto-su.ac.jp